

スマートフォン専門の開発会社が増加 IT投資で利益を確保 原価管理システムのニーズ増加

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

【システム業界全般について】

6月初旬から7月にかけて開発案件は全体的に少なめでした。また、案件自体の節約化傾向に対し契約の短期化という顕著な特徴もみられ、厳しい状況が続いていましたが、7月に入り開発案件は増加傾向にあり、契約の延長についても各所で見られ全体的に好調と聞きます。昨年は、7月から12月頃にかけて右肩下がりで案件が減少し、見えない景気の先行きにシステム業界全体に沈滞ムードが漂っていましたが、今年は昨年と比べ状況は好転したようです。しかし、景気の本格回復にはまだ時間がかかると考えているため、ユーザのコスト削減に対する意識は依然として高いように感じます。

IT、インターネット、コンサルティング業界等において、原価管理システムを検討する企業が増えているようです。これらの企業では売上高は回復傾向にありますが、利益率を景気低迷以前の水準に戻すまでには未だ至っていないため、自社の業務をシステム導入により効率化、見える化をして、コスト削減による利益確保を行いたいと考えているようです。

iPhone、Androidなどのスマートフォン市場において、引き続き案件数は増加傾向にあります。スマートフォン開発案件において、既存取引先でない場合も開発経験を重視して新規で取引を開始する機会が増えているようです。また、流行もあり最近では創設して数年のスマートフォンに特化した開発会社が以前より増えているように感じます。

【エンジニアについて】

エンジニアの単価は低水準の2割減で横ばいです。下請け会社の人余りの影響から、プログラマ(PG)、初級システムエンジニア(SE)の供給過多は続いています。その結果、プロジェクトに参画できるのは即戦力が認められるエンジニアで、エントリーレベルのエンジニアには依然厳しい状況が続いています。

■株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：統合型基幹業務パッケージ(ERP)「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbreak.co.jp/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：岡部、木塚

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7854 / E-MAIL：info@bbreak.co.jp